

俳句の謎(解答)

どうやらすべての俳句は季語によりある程度順番に並べられそうです。ということですべての俳句を春夏秋冬の順に並べ、ひらがな書きにしましょう。すると、このようになります。

- ・はるさめや よめとむすこと だんらんす
- ・やきんあけ うづきどりにて ときをしる
- ・ひょうさつの したにおちたる しょうぶのは
- ・それがいい みながとりあう さくらんぼ
- ・かげふみの こらのこえきく なつやすみ
- ・りっしゅうや はづなひきつつ そらみあぐ
- ・あこのてに ■■■ こすもす にほんなり
- ・かんしょうに ひとりてすごす くれのあき
- ・おとしもの さがしにもどる しちごさん
- ・すど一ぶの ははのめもとの しわにほん
- ・しょうがつの かんせいをせに おむつかえ
- ・えほうまき さいごのかけら ほおばりぬ

さあ、一番露骨なのは2番目の俳句でしょうかね。何かに気づきませんか？

…そう、2番目の俳句には「うづき」という言葉が入っています。12個ある俳句に月を表す言葉が入っている…何かにおいますね。

…それでは、俳句の中の法則に深くかかわる部分を赤文字にしましょう。すると…

- ・はるさめや **よ**めとむすこと だんらんす
- ・やきんあけ **う**づきどりにて ときをしる
- ・ひょう**さ**つの したにおちたる しょうぶのは
- ・それがいい **み**ながとりあう さくらんぼ
- ・かげ**ふ**みの こらのこえきく なつやすみ
- ・りっしゅうや **は**づなひきつつ そらみあぐ
- ・あこのてに ■■■ こすもす にほんなり
- ・**か**んしょうに ひとりてすごす くれのあき
- ・おと**し**もの さがしにもどる しちごさん
- ・すど一ぶの ははのめもとの **し**わにほん
- ・しょうがつの かんせいをせに お**む**つかえ
- ・えほう**ま**き **さい**ごのかけら ほおばりぬ

もうお分かりですね。そう、実はすべての俳句には、その季語に合った陰暦の月の呼び名の頭の二文字が隠されていたんです。

ということは、黒塗りになっている場所には「なが」が含まれなければいけませんし、入るのは形容詞と言われていました。したがって、正解は

正解：長い(長き)

でした。なお、『長し』はその後の『コスモス』に繋がらない終止形の形なので不正解となります。